

一関市（旧千厩町）

三沢自治会自主防災組織

結成までの経緯

万が一災害に遭遇、発生した場合「遠くの親戚より近くの他人」ということわざもあり、地域住民が一致協力のもと「組織的」「系統的」に対処できる体制を作ろうと考え、自治会運営委員会の方々により「三沢自治会助け合い（防災）総合計画」の検討が行われ、平成5年度の自治会総会の席で承認を受け結成に至った。

組織形態

本部長には自治会長、副本部長には自治会副会長、対策委員会には自治会運営委員、事務局員には自治会事務局がそれぞれあたり、その他必要に応じて本部長が任命する。

本部長 副本部長 対策委員会 事務局員 10班（班長・会員）

消防署・役場・農協

警察署・消防団

（組織世帯数 91世帯）

（隊員数 362人） H15.7末現在

活動の概要

毎年恒例となっている地区をあげての運動会の会場において、消防署の協力を頂きながら初期消火訓練、救助訓練、救護訓練等を行っている。

防災資機材等も訓練の時に使用し、点検、整備等を行う。

【活動実績】

- ・ 行方不明となった地区住民の捜索
- ・ 大雨により、地域住民宅の入口へ流れ込んだ土砂の撤去協力

今後の活動

防災訓練を通して、あるいは消防署、役場等関係機関と連絡を密にして、一人一人の防災意識を高めていきたい。

- 三沢自治会自主防災組織 -

結成・活動のポイント

結成時の趣旨「自分たちの地域は自分たちで守る」、「自分の事は自分で守る」をスローガンに、災害が起ってからでは遅い事を理解していただき、日常的にも防災意識を高め、継続していただくことに努力したい。